

# 千年の森便り No.203

2020.6.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

6月21日(日)、曇

4か月ぶりに千年の森の活動を再開しました。この間、一部の会員が個別に植物調査などを行っていましたが、共同作業はできませんでした。再開最初の活動はニホンジカ調査で、その後湖岸の清掃を行いました。午後からは各自のテーマ活動と並行して、いまだ残る台風被害の後始末に取り組みました。被害を一つ片づけ

ると次の作業が見えてきて、なかなか終わりが見えません。予期せぬ台風で明るくなった森を、今度どのような方針で管理するのか、数多くの議論が必要です。



久しぶりに千年の森に向かう



集まらない集合写真

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、及川、苅米、久我夫妻、坂本、田島、福島の10人でした。(伊藤)

## 〇ニホンジカ生息状況調査

久しぶりの千年の森の活動です。最初のメニューは、ニホンジカの生息状況調査。3月は活動休止により調査ができなかったため、半年ぶりの調査になります。落葉して明るかった森は、新緑を通り越してうっそうとした緑の濃い森に変わっていました。

調査は、島内を7コースに分かれて一斉に踏査し、発見したニホンジカを記録するといういつもの方法で実施しました。調査時間は10:00~10:30です。結果は、ニホンジカの発見はなし。痕跡としては、比較



マダケタケノコの食害

そのほか、調査中に観察できたものは以下のとおりです。

ヒバカリ：島の北岸の斜面で30cmくらい小さいヒバカリを見ました。

キビタキ：調査中に島内でさえずりを聞きました。



ヒカゲツツジ開花の跡

的新しいフンが1か所で見つかりました。

調査ではニホンジカを確認することができませんでしたが、及川さんが調査終了後の11時少し前に、ホテイ岬で角がないニホンジカ1頭を目撃しました。もしかすると、シカも調査慣れしてきて、うまく調査員の間をすり抜けているのかもしれない。



7コースに分かれニホンジカ調査



ほこら山北斜面のスハマソウ

スハマソウ：ホコラ山の下個体に新しい葉が出ていました。

ヒカゲツツジ：春に開花した痕跡がありました。(福島)

## ○昆虫観察記録

薄暗い森の中は蛾の天国。6月に豊英島でよく見られる蛾の御三家、ホタルガ、ハグルマエダシャク、ヒョウモンエダシャクがひらひらとよく飛んでいま



ホタルガ



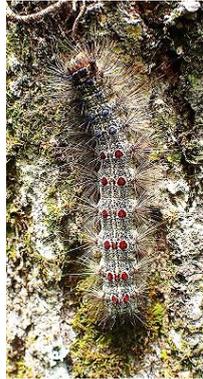
ハグルマエダシャク



ヒョウモンエダシャク

した。ホタルガ(食草ヒサカキ)は黒い翅に白い線があり、飛ぶとよく目立ちます。蛍に見えるかな？

5cmを超える大きな毛虫はマイマイガの幼虫。久我さんがブルーシートについているマイマイガの蛹を見つけてくれました。この蛹はピクピクよく動きます。時に大発生する蛾ですが、千葉県での大発生はないと思います。来月は成虫を見ることができるとでしょう。



マイマイガの幼虫



マイマイガの蛹



ハイロチョッキリ

甲虫で、どんぐりに産卵して、木の枝をチョッキリと切り落とします。スパッと切れたどんぐり付きの小枝が落ちていたら、この虫の仕業かもしれません。小さな体で大きな仕事をするものですね。

(他に観察された昆虫) モリチャバネゴキブリ、オオカマキリ幼虫、フキバッタの一種幼虫、アオマツムシ幼虫、クワキヨコバイ、ブチマクヨコバイ、アオバハゴロモ幼虫、マルウンカ、アカサシガメ、シマサシガメ、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、アシマダラヒメカゲロウ、アオオサムシ、クロハナボタル、ナミテントウ、キマワリ、クチキムシ、ヒメヒゲナガカミキリ、トガリシロオビサピカミキリ、ヨツスジハナカミキリ、オオスズメバチ、ムモンホソアシナガバチ、アミメアリ、トゲアリ、ムネアカオオアリ、ヤマトシリアゲ、ムラサキシジミ、オスグロトモエ、ツマオビアツバ、ギンボシトビハマキ、ウスキクロテンヒメシャク、トビモンオオエダシャク幼虫、ヒモミノガの一種幼虫 (田島)

## ○植物観察記録

今月注目していた植物はアブラギリ、イワガラミ、キヨスミギボウシ、オカトラノオ、ニガイチゴの花と実でした。残念ながらすべて空振りに終わりました。観察したものは以下の通りです。(秋元)

### ・ツチアケビ

千年広場南側の5株は6株となり、5株は元気よく花が咲き1株は上の方から20cm程度までが黒ずんで花芽も黒くなっていました。黒くなった下の花はきれいに咲いていました。吊橋終端西側の1株は5月に金網柵を設置しましたが設置金網の内空高が足らなかったようです。真直ぐに伸びられず曲がっていました。花は元気に咲いていました。



千年広場南に開花したツチアケビ



吊り橋終端に開花した首曲がりツチアケビ

### ・ギャップ林保護柵内

クロモジとサルトリイバラが丸い緑色の実を沢山つけていました。また、ムラサキシキブは大きく育ち保護柵の中で日の光を独り占めするかのように、頭上に広がった枝に薄紫色の花を咲かせていました。



クロモジ



サルトリイバラ



ムラサキシキブ



アワブキ

### ・ギャップ林保護柵脇のアワブキ

異常事態が発生していました。葉の全くついていない枝や穴だらけの葉がついた枝が数多くありました。昨年の5月には円錐花序をつけ緑の葉が茂り見上げても葉の隙間から空も見えないほどでしたが今年は残念な有様です。花も咲かなかったかもしれません。

### ・ナラ枯れ



ナラ枯れで枯死したコナラ



穿入孔



フラス



枯死したコナラ観察中

昨年の9月20日の福島さんの記事（千年の森便り NO.194）でナラ枯れについて懸念されていることが記されていました。それから9か月、記事のコナラはすべての葉を落とし、幹には穿入孔が多数見られました。穿入孔には穴だけのものとフラスの付いたものが確認できました。木の根元はフラスで薄い黄土色になっていました。

### ・芽生え；カキ、アブラギリ、イロハモミジ、ハリギリ、カラスザンショウ、ヤマザクラ等様々な芽生え。



アブラギリ



イロハモミジ



ハリギリ



カラスザンショウ



ヤマザクラ



### ・アオダイショウ

ホテイ岬端で1mほどのアオダイショウに出逢いました。素早い動きで枯れ枝の中に逃げていきました。

### ○台風被害木処理

久しぶりに訪れた島は、新緑に覆われ清々しい雰囲気です。島の中には、至る所に大小の倒木が見受けられます。今回は、広場近くのヒメコマツ周辺の倒木（中～小）をチェーンソーで1m程に切断して整理しました。処理本数5本。家内則子にも手伝ってもらいました。（久我哲也）



倒木処理打ち合わせ

## ○植生保護柵の補修

島内には、シカの食害から植物の多様性を保全することを目的に、植生保護柵（9か所）が設置されています。ところが、昨年の台風とその後の風による落枝が原因で、これらの柵があちこちで破損してしまいました。そこで今回は、伊藤さん、鶴沢さん、苅米さんとともに、巨木林区域内の一番古い柵の補修を行いました。この柵は、昨年の台風で破損し、シカが侵入したことにより柵内の植物がシカの食害を受けてしていました。

折れたり傾いたりした支柱を立て直し、たるんだネットを張り直して補修完了。苅米さんからは、現場で役に立つヒモの結び方を教えていただきました。（福島）

## ○湖岸清掃

ほてい岬の湖岸を清掃しました。長年やっても、雨で増水するたびに打ち上げられるゴミがあり、終わりはありません。

もっとも、かつては古い瓶入り飲料などが数多く、拾い上げるのに躊躇するようなこともありました。今回はプラスチックや発泡スチロールの破片が大半でした。何に使われていて、どういった経緯で流れついたのでしょうか。（伊藤）

## ○農地の作業

当日の活動ではシカ調査が主目的でしたから、これに参加のつもりでしたが、必要な人員が辛うじて確保できたので、私は農地の作業に専念しました。とは言え電柵の下や急傾斜法面にススキやイタドリ等の雑草が生い茂ってしまったので、その刈り払いに時間を取られ、作物の世話は殆どできませんでした。

里芋はシカの食害を受けず唯一元気に育っている作物です。人手があれば除草、施肥、土寄せなどの手入れをする時期です。更に手厚い世話をするなら真夏の乾燥防止の為に今から根元に稲わらなどを厚く敷いて上げたいものです。刈り払った草は稲わらの代用のマルチ材になるのに、何にも利用せずそのまま放置するのは惜しいなと思いながら刈り払いを続けました。

## 温暖化、暖冬の所為？

里芋を次年の種用に残すには凍結防止のため、深い穴を掘って地中に保存するのが普通です。昨年は種芋を多めに保存していたつもりでしたが、最終的には不足気味になってしまいました。ところが春になると前年作付けした畝の所々から芽が出ているのに気付きました。掘り忘れた株や掘る時に親芋から外れて地中に残ったままの子芋が無事に越冬して発芽したものです。不足分をこれで補えると思い、掘り取って植え直したものが元気に育っていて、正規の種芋から育った株と見分けられない程です。何も保温しないで越冬できたのは温暖化のせいでしょうか？今後もこれで良いなら種芋保存の手間が省けて助かりますが、油断していると厳冬になった時に全滅するかもしれません。（坂本）

## お知らせ

今回は7月19日（第3日曜日）です。光環境調査（夏季）、ヒメコマツ周辺下刈り、シカ防護柵補修、台風被害木の処理と盛りだくさんです。かなりの人手が必要ですので、ぜひ参加願います。

暑い時期の作業になりますが、コロナ対策、熱中症対策をしっかりと願います。

9時30分、清和自然休養村（直売所）集合です。



植生保護柵補修



ほてい岬の清掃



電柵下斜面の刈り払い



里芋は元気に育つ